

平成31年度分 ふれあいのあるまちづくり県民運動「ボランティア活動振興・助成事業」
助成金交付団体と主な事業内容

No.	市町	交付団体・金額	主な事業内容
1	大村市	あじさいグループ 45,000円	『福祉教育に関する事業』 グループで製作した布の絵本、玩具を大村市ボランティアセンター「さくら文庫」に寄贈し、常時貸し出しを行っている。幼児や障害を持つ子供やそれ以外の子供たちにも「布の絵本、玩具」で遊ぶことによって他の玩具では味わえない、ぬくもりと喜びを感じてくれることにより、子ども達が本に親しみ、心豊かな情操を培い、遊びの中で手指の機能訓練、思考力の発達の補助を目的として製作に取り組んでいる。
2	島原市	特定非営利活動法人 しあわせ会 100,000円	『ラージボール卓球による健康増進等の推進を図るため』 ラージボール卓球を通じて地域の子供たちや地域の人たちとの交流を深め、障害を持つ人達の健康増進、社会参加の機会を増やすとともに生きがいがある楽しい日中活動ができるよう活動に取り組んでいる。
3	五島市	五島手話サークル絆 648,000円	『手話言語条例学習会及び手話通訳技術レベルアップ研修会』 「手話言語条例」制定に向けての学習会や、手話通訳技術レベルアップ研修会を行っている。また、聴覚障害者が困っていることや不便なことをまとめて市役所に要望し、聴覚障害者と地域住民とのかけ橋となるべく活動している。
4	諫早市	長崎福祉教育研究会 300,000円	『地域の福祉レベルの向上のための中学・高校・大学・福祉現場の連携によるキャリア・ネットワーク事業』 よりよい福祉の担い手養成と安定的な福祉人材の供給をめざし、高等学校で福祉関連の科目を担当される先生方を主な対象とした「福祉教育セミナー」や、福祉に関心を寄せる高校生たちによる学習成果の表現などを競い合う「福祉大賞コンテスト」を一体にした企画『福祉教育フェスティバル』を、長崎ウエスレヤン大学と連携しながら開催。これらの継続的な開催を通して、中学、高校、大学、そして福祉現場からなる4者のコラボレーションによる福祉人材のキャリアネットワークを構築し、福祉人材の養成に積極的に取り組んでいる。